

# 知財とブランド戦略

## 第2回 商標・意匠

特徴のあるデザインは商品を表すブランドとして消費者に認識され差別化につながる。デザインを保護する意匠の強みや戦略、保護範囲の違う商標と組み合わせた知財権ミックスとは。ユニアス国際特許事務所・石川克司弁理士に聞いた。

子を開発した場合、物品を『包装容器』に指定すると権

利範囲は包装容器すべてとなる。商品・役務の区分で指定する商標に比べ広い範囲に権利が及ぶ場



ユニアス国際特許事務所・石川弁理士

表示ブランドの一つとなり、消費者にアピールするアイコンとなる。ブランドとは差別化、区別化のこと。類似品が出てくるとブランド力が希釈する。それを防止することも意匠を活用した戦略といえる。

表すブランドの一つとなり、消費者にアピールするアイコンとなる。ブランドとは差別化、区別化の商品から自社のブランドを守る役割がある。ブランド力や信用力を高め外堀を埋めるために、役割が違う商標と意匠、特許を上手に組み合わせると良い。こうした知財ミックスを取り入れることで、より強い権利で商品を守るができる。

石川 『こういう商品を作りたい』という方向性が決まった段階でご相談をいただくことで、より幅広い提案ができる。

## 意匠は模倣品対策に有効

### あらゆる可能性から適した提案を

——意匠を出願する場合に限り救済されることに重要となるのは。もあるが、基本的には

石川 意匠登録は「新規性」「創作性」が求められるのが意匠だ。

——意匠の強みという点がある。

石川 意匠は模倣品対策に非常に有効だ。意匠を理由に拒絶される。新規喪失の例外に関する規定の手続きを行った場

合がある。

意匠にはデザインのブランド力高め意匠戦略

石川 意匠は模倣品対策に非常に有効だ。意匠を理由に拒絶される。新規喪失の例外に関する規定の手続きを行った場

使用されており、家電製品や電球などの物品その

石川 意匠は模倣品対策に非常に有効だ。意匠を理由に拒絶される。新規喪失の例外に関する規定の手続きを行った場

——商標とは保護する範囲が異なり、それぞれ

石川 ブランドイメー

石川 やみくもに商標面を持つ特許との組み合わせ

石川 意匠は模倣品対策に非常に有効だ。意匠を理由に拒絶される。新規喪失の例外に関する規定の手続きを行った場

石川 『こういう商品を作りたい』という方向性が決まった段階でご相談をいただくことで、より幅広い提案ができる。

石川 意匠は模倣品対策に非常に有効だ。意匠を理由に拒絶される。新規喪失の例外に関する規定の手続きを行った場

22日掲載予定